

定期検査基準：ホームエレベーター／小型エレベーター

1. 綱車（駆動シーブ）（ロープ溝の磨耗基準）

綱車のロープ溝の磨耗基準は図1の通り管理願います。

綱車の耳からロープ山まで（L2）を測定してください。

次の数値内が正常値です。範囲を越える場合に要是正となります。

巻上機の綱車の交換を行ってください。

<磨耗基準>

{頂部巻上式}

HT76T-18 ロープ径φ8：3.0mm以下

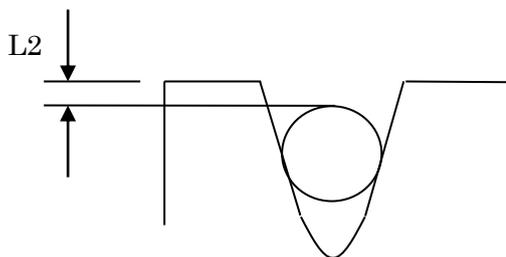


図1. ロープ溝磨耗限界

2. ブレーキ関係

①スキマ寸法の測定

両側ブレーキが作動している状態での、可動鉄心ASSYとブレーキコイルASSYのスキマを全外周の数箇所（3箇所以上）で測定し、下記の許容スキマ以下であることを確認する。

ブレーキ	スキマの 定格スキマ(mm)	スキマの 最大許容スキマ(mm)
HEV10KB	0.3~0.4	0.6
	要重点点検：0.5	要是正：0.6 超過

②ブレーキ能力の測定

片側ブレーキのみが作動している状態で、無負荷もしくは100%の積載荷重の制止保持および制動能力があることを確認する。

それぞれのブレーキについて、確認する。